



各学年で学習する漢字を、その学年でしっかりと身に付けさせることが重要です。そのために、指導を工夫しましょう。

学習指導に当たって大切なこと

- (1) 当該学年までに配当されている漢字を習得させる。
 - 文や文章の中で適切に使うことができるように指導する。
 - 新出漢字を一画一画丁寧に書いて覚えたり、既習の漢字を意図的に復習したりすることができるように計画的に指導する。
 - 漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりするように指導する。
- (2) 国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付ける。
 - 国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣を付ける。
 - 辞書の利用について学習する第3学年から意図的・計画的に指導する。
 - 辞書を日常的に活用するために、必要などときにはいつでも辞書が手元にあり、使えるような言語環境をつくっておく。
 - 国語科の学習のみならず、各教科等の調べ学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用し、語句を拡充し、漢字を正しく読んだり書いたりすることができるように指導する。



授業だけでなく家庭学習と関連付けることが、漢字の学習においては、有効です。

授業

- 導入で、書き順、意味など確認する時間を設ける。(家庭学習で行ってきた漢字を短時間で確認)
- 豆テスト、漢和辞典引き競争等意欲を高める活動を行う。(単元計画の中に設定)



関連

家庭学習

- 毎日短時間で行う。(習慣化)
- ノートに練習、漢字プリントを配付等、変化を付ける。(機械的な練習になることを避ける)
- 温かい声かけ、赤ペンにより児童の意欲の向上を図る。



漢字の問題からも、全国学力・学習状況調査は、6年生担任だけで対策を立て、指導するのではなく、学校全体で**組織的、計画的**に取り組むことが重要であることが分かります。